

清らかな源流の里 県南農林だより

第11号



所長あいさつ

平成28年度「県南農林だより」発行にあたり、ご挨拶いたします。

東日本大震災から、6年目の春を迎えました。しかし、原子力発電所の事故の影響は大きく、モニタリング検査など継続した取組を続ける必要があります。

一方、昨年は、EUにおける本県農産物の輸入規制の一部解除があり、県内の農産物直売所の売り上げも震災前を上回り、また、県南地方に限ってみても、放射性物質の検査では主要な食品である米や野菜、果物、畜産物は4年連続基準値超過はゼロであり、新規就農者数も過去13年の記録で最多になるなど明るい話題も多くありました。

「県南農林だより」では、県南地域が県内の復興の牽引となるよう、復興に向けた様々な取組やイベント等、元気のである特徴的な情報を皆様にお届けします。

県南農林事務所 所長 桃井 栄一

目次

所長あいさつ

農林業関係の動き

- ◇しらかわ・地域産業6次化ネットワーク交流会
- ◇架線系集材現地研修会
- ◇モデル畜舎竣工式
- ◇矢祭山みどりの少年団結団式・稚鮎の放流

コラム

- ◇農事組合法人入方ファーム
- ◇県南地方の農業施設の紹介

お知らせ

- ◇農作業の安全について
- ◇山火事防止強化月間
- ◇農業青年クラブ会員募集
- ◇山菜等の出荷について
- ◇「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン
- ◇学校給食地産地消推進事業

農林業関係の動き

平成27年度しらかわ・地域産業6次化ネットワーク交流会を開催



交流会の様子

3月16日(水)、白河市立図書館で地域産業6次化に取り組む事業者で組織する「しらかわ・地域産業6次化ネットワークの交流会」を開催しました。

交流会では、ネットワーク会員である(有)肉の秋本本店の秋元社長と(有)ケーフーズ生田目の鈴木社長より「6次化商品の価格の付け方」について講演をいただき、商品開発の方法や流れをはじめ、価格設定の基本的な考え方として、コスト計算や利益率の確認が重要であるなど、経営上の要点を学びました。

また、続いて行われた会員の生産する6次化商品の試食・物販交流の時間には、お互いの商品を紹介しあったり、商品開発についての相談をしたりネット販売方法の情報交換など、事業者間の新たな連携が図られました。(企画部)

■架線系集材現地研修会を開催



マルチスキッド
(林地を往復しながら集材)

3月23日(水)、奥久慈流域林業活性化センター主催による架線系集材現地研修会が棚倉町内で開催され、県南地方の林業就業者等26名が参加しました。

今回の研修会では、「遠隔操作による無人架線系集材システム」が実演されました。

このシステムは、株式会社ミツヤマグリーンプロジェクトが平成25年に林野庁補助事業を活用し、コンラッド社(オーストリア)のマルチスキッドを改良して開発したものです。

作業道が開設できない林地での集材が可能になることや遠隔操作により労働災害防止につながる事が紹介されました。

参加者からは、「初めて見る機械で参考になった。これからも

新しい機械・作業システムを紹介してほしい。」との意見が寄せられました。

今後も、新しい作業システムを紹介しながら、地域の林業振興を図ってまいります。(森林林業部)

■「肉用牛繁殖モデル農場」が竣工しました！



関係者でのテープカット

3月26日(土)、JA東西しらかわと(株)JA東西しらかわグリーンファームが埴町に整備を進めてきた「肉用牛繁殖モデル農場(繁殖和牛100頭)」の竣工式が、大勢の関係者の出席の下、華々しく開催されました。

本農場は、大震災・原発事故により大きな被災を受けた本県の繁殖牛農家の復興・再生を図るため、国庫事業を活用して同JAが平成26年から整備に取り組んできたものです。

モデル農場では、地域の耕種農家と連携して、飼料用米や稲WCS、飼料用とうもろこしなど自給飼料の生産に積極的に取り組むとともに、最新技術を駆使した低コストかつ牛の事故率低下を実現した本農場をモデルとして、阿武隈地

域はもとより本県の和牛繁殖の生産振興に取り組んでいくこととしています。

農林事務所でも、本農場の取組をしっかりと支援してまいります。(農業振興普及部)

■新生「矢祭山みどりの少年団」始動！

4月18日(月)、矢祭町立矢祭小学校3~6年生の177名で構成される「矢祭山みどりの少年団」の結団式が行われました。

この少年団は、昭和49年に矢祭町立内川小学校で結団された歴史のある少年団ですが、今年度、内川小を含む町内5つの小学校が統合して矢祭小学校となったことから、新生「矢祭山みどりの少年団」として、新たな出発となりました。

式では、県南農林事務所森林林業部長の祝辞の後、団長の蓮見一成君から元気よく結団宣言がなされました。

式終了後には、少年団の3年生による稚鮎の放流が久慈川の矢祭橋付近で行われました。

新たに歩み始めた「矢祭山みどりの少年団」を祝うかのような、爽やかな晴天の下での少年団初の活動となりました。(森林林業部)



稚鮎の放流

■「自分たちの集落は、自分たちで守っていこう！」農事組合法人入方ファーム



出席者全員での記念撮影

4月3日(日)、白河市内において「農事組合法人入方ファーム」が平成27年度豊かなむらづくり顕彰事業県知事表彰と第45回日本農業賞福島県代表に選ばれたことを祝い、白河市長をはじめ多くの関係者や同集落全員が出席して、賑やかに祝賀会が開催されました。

農事組合法人入方ファームは、白河市の東部に位置する入方地区の農家26戸で構成され、現在、水稻、大豆など28.2haを経営している集落営農組織です。

昭和50年代後半からの水田の基盤整備を契機に、「一集落一農場」を目指して水稻の共同栽培等に取り組んできた定年帰農組を中心に、平成24年7月に組織されました。

近年では、水稻の省力・低コスト技術の導入、水稻育苗ハウスを活用したカラフルミニトマトの生産、女性部による転作大豆の6次化商品の開発、営農型発電等を導入など様々な取り組みを行っています。

また、入方集落自治会と相互協力し、環境美化活動や防災活動、グリーンツーリズムや地元保育園児の食農教育の受入など、集落全戸でむらづくり活動に積極的に取り組んだことが今回の受賞となりました。

平成29年には、未加入の農家3戸が加入することが確定しており、正に「一集落一農場」が完成されることとなります。本組合が、福島県を代表する農事組合として、今後も元気に活躍できるよう、農林事務所としてもしっかりと支援してまいります。(農業振興普及部)

■県南地方の農業施設の紹介【第7回】「玉野堰と棚倉堀」



【玉野堰】

いにしへの城下町、棚倉町に跡を残す棚倉城は、桜の名所として有名ですが、城跡周囲のお濠は、桜の彩りを引き立てるだけでなく、散った後も花はな 筏いかだなどで、訪れる人々に印象深い春の風情を与えてくれます。

実は、このお濠、町の北部を流れる阿武隈川の支流、社川が水源となっており、棚倉町逆川・堤地内にある「玉野堰」より人工的に作られた「棚倉堀(別名:檜木川)」により引き込まれています。

玉野堰は室町時代後半(1500年代後半)に作られ、棚倉堀を通じて供される貴重な水は、当時水不足になりが

ちだった水田を潤すだけでなく、江戸時代に多くあった水車を回す動力として、庶民の生活用水として利用されたと言われています。

玉野堰は、当時木製の堰であったため、大雨で流されることが度々ありました。そこで、昭和に入るとコンクリート製に改修され、現在に至ります。

棚倉堀は根子屋川、町の東側からの大草川と流れを合わせ、最終的には久慈川に合流しており、主要な河川どうしを繋いでいます。(農村整備部)



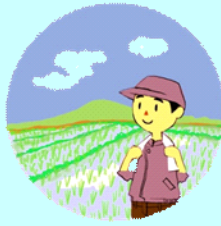
【棚倉堀】

■春の農作業安全運動実施中！

春の農作業シーズンとなり、トラクター、田植え機、刈り払い機などの農業機械を使用する機会が増えます。

農業機械の操作・使用には十分注意し、余裕を持った計画を立てて農作業を行いましょう。

(農業振興普及部)



■山火事注意！

県内各地においてこの春、林野火災が多数発生しています！ 空気が乾燥して林野火災が発生しやすい時期が続きますので、火の始末に十分注意をお願いします。(森林林業部)

誓います 森の安全 火の始末

【山火事防止強化月間】

2/10▶5/30

10/20▶12/20

■農業青年クラブ新規会員募集！

県南地方には、若手農業者の集まりである「農業青年クラブ」が2つあります。それぞれ研修会や県内外での直売イベントの実施など、自らの今後の農業経営や技術向上に役立てるため様々な活動をしています。

活動内容のお問い合わせや加入のご相談は、農業振興普及部(0248-23-1565 担当: 各務・川島)までお願いします。(農業振興普及部)



東白川4Hクラブ



Shirakawa Agri Friends

■山菜の出荷に注意してください！

春の山菜シーズン真っ盛りですが、県南地域では下表の市町村で採取された山菜が出荷できませんので御注意ください。

品目	市町村
たけのこ	白河市、西郷村
たらのめ (野生の物に限る)	白河市、西郷村、泉崎村、塙町、鮫川村
わらび	鮫川村
こしあぶら	全市町村

■第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

○日時 平成28年5月21日(土) 9:30~12:30

○場所 り菜あん(白河市弥次郎窪)

旬の県産農林水産物をPRし、消費拡大を推進するためのキャンペーンを開催します。

参加費無料で、春野菜や6次化商品の試食、プレゼント企画を行いますので、是非ご来場ください。(企画部)



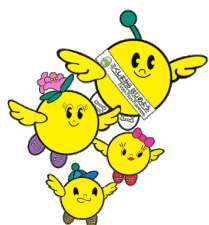
■学校給食地産地消推進事業の募集

学校給食において県産農林水産物の活用を積極的に行う小中学校や市町村等の取り組みを支援しています。

1回の給食を構成する品目の内、8割以上の品目で県産農林水産物を使用したメニューであれば、全ての食材購入費が補助対象となり、上限額は、対象となる児童生徒数に500円を乗じた額です。

また、食育活動に係る経費の補助もあります。

おいしい県産農林水産物を是非、学校給食で利用してください。(企画部)



農林業に関する相談などお気軽に御連絡ください！

福島県県南農林事務所 企画部

〒 :961-0971

住所:福島県白河市昭和町269[白河合同庁舎]

電話:0248-23-1577



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

平成28年5月13日発行